

2024年1月25日

石川県知事  
馳 浩 様

社会民主党石川県連合  
代表 盛本 芳久  
(公印省略)

(第2回) 能登半島地震の被災地支援についての要請

能登半島地震が発生してから3週間が経過しましたが、避難所への避難者が1万人を以上おり(23日現在)、被災地の復旧はまだまだこれからです。この間、県におかれましては被災者、被災自治体への支援や復旧へのとりくみに改めて敬意を表します。

社民党石川県連合は12日に第1回目の要請を行いました。被災者のニーズも変化しており、第2回目の要請を下記のようにまとめました。

つきましては、ご検討いただき、実施していただくよう要請します。

記

1. 避難所運営

○現在の避難所の環境について、国際基準であるスフィア基準を念頭に一層の改善を図ること。

○避難所の運営、環境整備等の意思決定に女性の参画を進めること。

○男女で仮設トイレの場所を離し、しっかり分ける、男女別更衣室の設置、授乳スペースの確保など、避難所の施設を女性へ配慮したものに改善すること。

○被災者および支援者の女性、年少者等に対する暴力・性暴力が起こらないよう十分配慮し、防止・相談の取組をすること。

○感染症(コロナ感染症、インフルエンザ)が広がっており、予防対策を徹底すること。

2. 2次避難所、広域避難所

○食事提供できないホテル・旅館への避難者に対して、市町で責任をもって食事提供を行うこと。

○2次避難所や広域避難所の開設期間の見通しを示すこと。

○2次避難所となっているホテル、旅館等において民業の圧迫にならないようにすること。

○広域避難所の運営について、避難者やボランティアに協力を求めるなどして、自治体職員の負担軽減を図ること。

3. 避難所外避難者

○在宅避難や車中避難など避難所外避難者および自主避難者を早急に把握し、迅速に支援すること。

4. 民間支援団体、ボランティアとの連携

- 社協や民間支援団体との官民連携会議を立ち上げること。
- 安全対策を徹底し、民間ボランティア受け入れ可能な市町から早急に活動を開始すること。
- 家屋の屋根にブルーシートをかける業者が少なくなっていることから、早急に業界団体や民間ボランティアに協力を求めること。

#### 5. 教育権の保障

- 被災児童生徒に短期、中長期的な安心感を与える情報とメッセージを発信し、適切な支援策を講じること。
- 被災地の学校への教員、事務職員、スタッフ職員を加配すること。
- 広域避難し集団生活をしている中学生に対し、ボランティアの協力を得ながら生活面の支援を行うこと。
- 広域避難した中学生の指導に当たっている教員について、輪番制をとるなどして労働の軽減を図ること。

#### 6. 志賀原発

- 県としての早急に発電所被災現場への立ち入り調査を行い、状況の詳細について説明を求めること。
- 同程度の地震が否定できない現状を踏まえ、道路が使えない、港が使えない、ヘリコプターも使えない、屋内退避もできない現在の状況を想定した原子力防災避難計画を早急に策定すること。

#### 7. 避難所等への物資の供給

- 自治体職員が NGO・NPO、ボランティアと協力し、各避難所・避難者が必要とする物資を掌握し、素早く供給できるシステムを早急に確立すること。

#### 8. みなし仮設住宅

- 不動産業者が斡旋しないとみなし仮設住宅とならないが、行政が仲介することで、手続きが完了する前でも避難者が入居できるようにすること。
- 民間アパートや公営住宅の空きがない地域では、空き家をみなし仮設住宅へ活用できるよう体制を整えること。

#### 9. 受援計画

- 被災地となった場合、どのように支援を受けるのか事前の受援計画が重要であることから、県主導で各市町と連携し、具体性のある受援計画を作成すること。

#### 10. 生活・産業支援

- 被災者の家財や家電製品などを一時保管できる貸しコンテナやレンタル倉庫を提供すること。
- 断水による生活上の不便を軽減するため、ランドリカーを借り上げるなど積極的な対応策を講じること。
- 奥能登、河北潟干拓地の酪農家への水の供給を行うこと。

#### 11. インフラ整備

- 被災者へ生活再建の見通しを示すこと。
- 1日も早い断水解消のため、送水管の復旧を加速化すること。
- 志賀町以南の上下水道の復旧の見通しが示されていない。志賀町以南についても上下水道の復旧の見通しを示すこと。

以上